

# 平成28年度 事業報告書及び決算報告書

自 平成 28年4月 1日  
至 平成 29年3月31日

一般財団法人 静岡経済研究所

# 平成28年度事業報告書

平素は、静岡経済研究所の活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、日本経済は、平成24年12月から始まった景気拡大が戦後3番目の長さとなったものの、景気回復は実感しにくい状況にあります。主な要因としては、26年4月の消費税率引上げや賃金の伸び悩みなどから個人消費が低迷し、内需拡大が限定的となっていることがあります。また、海外においても、英国のEU離脱表明やトランプ米国大統領による国益優先姿勢の強まり、緊迫する北朝鮮情勢を受けた地政学的リスクなど、外需拡大にも不透明感が増しています。

県内経済においても、年度前半の円高により、本県の主要産業である自動車や電機などの製造業で収益が圧迫されたほか、天候不順によりレジャー産業が低調に推移、外国人観光客の来訪も頭打ちとなるなど、景気回復の足取りは力強さに欠けました。また、人口の転出超過が続く中、人手不足が深刻度を増しており、成長の足かせとなる懸念が高まっています。

こうした状況下にあって、当所では、「課題解決先進県を目指して」を平成28年度の重点研究テーマに掲げ、調査研究を進めて参りました。調査研究成果については、月刊誌に掲載したほか、「静岡県経済白書2016」において、課題解決に向けた方向性を考察しました。また、「SERI会員サロン、オープンサロン」、「SERI経営セミナー」など会員交流、セミナー事業の拡充にも注力し、会員の方々や地域の皆様に対するサービスの充実に努めました。

平成29年度は、第5次中期事業計画スタートの年となります。「静岡県の未来づくりを提言、そして行動」を新しいビジョンとして掲げ、活動を進めて参ります。

地域経済の発展に寄与することを目指すシンクタンクとして、このような調査研究・提言活動ができますのも、役員をはじめ会員、地域の皆様の厚いご支援の賜物と深く感謝しております。今後も原点である実証的な調査研究を重ね、地域に存在感のあるシンクタンクとなるよう努力して参りますので、どうぞ、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 1. 当法人の現況に関する事項

### (1) 財産及び損益の推移

平成 28 年度は、セミナー事業の拡充や静岡県経済白書の販売などにより経常収益の確保を図る一方、人件費などの経費削減に努め、黒字体質が定着しました。

区 分	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (当該事業年度)
経常収益(百万円)	340	377	358	350
経常費用(〃)	333	358	326	325
当期経常増減額(〃)	7	19	32	25
正味財産期末残高(〃)	1,447	1,466	1,507	1,532

### (2) 会員に関する事項

平成 28 年度は、会員獲得運動の前倒し実施や会員管理の厳格化に努めました。その結果、会員の総数は減少したものの、維持会員が 71 先増加したことなどにより、会費収入は前年並みを維持することができました。

種 類	前年度末	当年度末	先数増減	口数増減※
維持会員(年会費 35,000 円)	3,974 先	4,045 先	+71 先	+213 口
賛助会員(年会費 12,000 円)	11,370 先	11,160 先	△210 先	△210 口
合 計	15,344 先	15,205 先	△139 先	+3 口
(参考) 年間会費収入	270 百万円	270 百万円	—	—

※維持会員1先=3口、賛助会員1先=1口として算出。近年、先数は減少傾向だが、口数は増加を維持している。

## 2. 主な事業内容

### (1) 調査研究事業

#### ① 静岡県経済白書の発刊

「課題解決先進県・静岡を目指して」をテーマに「静岡県経済白書 2016」を発刊(8,500 部)、人口減少やモノづくり産業の変調と言った重い課題を突きつけられている静岡県の現状を分析するとともに、課題解決先進県へと進化するために求められる対応の方向性や具体的な取組みについて解説しました。

## ②自主研究

本年度は、「課題解決先進県を目指して」を重点研究テーマに掲げ、「産業」「経営」「地域」という3つの視点から、静岡県が構造的課題を克服して“課題解決先進県”へと進化するために求められる方策を提言してきました。

### A. 産業関連

- ・「静岡県製造業の“失われた25年”（工業統計調査分析）」
- ・「『I o T』が切り拓くモノづくりの革新」
- ・「自動車産業の未来を展望する」
- ・「県内自動車部品メーカーの技術動向を探る」
- ・「I o T活用で差別化狙う工作機械メーカー」
- ・「観光地の“稼ぐ力”を高める『DMO』」
- ・「“情報発信”で外国人客を呼び込む／高山」
- ・「動き出す、静岡県の『健康長寿産業』」
- ・「静岡県サービス業の生産性分析」
- ・「シェアリングエコノミーが地域を変える」
- ・「日本一を誇る静岡県の化粧品産業」
- ・「県内35市町全てで小売業事業所が減少（商業統計調査分析）」
- ・「新業態の参入で活性化するフィットネス市場」

### B. 経営関連

- ・「『働き方改革』で“選ばれる企業”に」
- ・「シニアが活躍する職場づくり」
- ・「女性の活躍で企業の活性化を」
- ・「県内サービス産業のI T活用実態」
- ・「多分野で活用広がるロボットテクノロジー」

### C. 地域社会関連

- ・「若年女性の流出問題を考える」
- ・「実行段階に入る地方創生」
- ・「静岡県のイメージと県民性調査」
- ・「輝く“模型の世界首都・静岡”に」

## ③定例調査

当所のネットワークを活用し、静岡県の産業や消費動向、企業の景況感などを定期的に調査し、迅速に情報提供しました。

- A. 企業経営者の景気見通し調査（6月、12月）
- B. 中堅・中小企業の設備投資計画調査（9月、3月）
- C. 県内主要産業の四半期見通し調査（4月、7月、10月、1月）
- D. 静岡県版景気ウォッチャー調査（5月、8月、11月、2月）
- E. 消費動向調査（12月）

## ◎出版物の発刊実績

A. S E R I Monthly (マンスリー)	年 1 1 回	173,000部発行
B. S E R I 景況レポート	年 1 3 回	178,938部発行
C. S E R I 研究季報	年 4 回	27,600部発行
D. 静岡県会社要覧	年 1 回	17,000部発行
	〔うち、CD-ROM同梱版	4,300部発行〕
	CD-ROM単体版	300部発行
E. 中小企業のための特別情報	年 4 回	61,050部発行
F. 経営相談	年 6 回	24,600部発行
G. 干支情報	年 1 回	6,125部発行

## ④受託調査

県内自治体や各種団体から、さまざまなテーマの調査を受託し、地域経済の活性化やまちづくりに向けた提言を行いました。

### A. 静岡県

- ・内陸フロンティア推進区域等具体化促進事業業務委託（静岡県地域振興課）

### B. 市町

- ・静岡市景況調査（静岡市産業政策課）
- ・はままつ産業イノベーション構想改訂資料等作成業務（浜松市産業振興課）
- ・紙産業イメージアップ推進検討業務委託（富士市企画課）
- ・富士市の市民経済計算推計業務委託（富士市企画課）
- ・平成23年熱海市産業連関表作成業務委託（熱海市企画財政課）

### C. その他

- ・静岡産業支援センター経済波及効果調査業務（静岡産業振興協会）
- ・静岡県中部・志太榛原地域観光実態調査業務（静岡観光コンベンション協会）
- ・平成28年度産業動向調査業務委託（袋井地域土地開発公社）
- ・平成28年度伊豆半島版産業連関表作成業務（美しい伊豆創造センター）
- ・長泉町中心市街地の活性化調査業務（長泉町商工会）
- ・静岡マラソン2017経済波及効果（静岡朝日テレビ）

など

## (2) 会員交流、セミナー事業

### ① S E R I 会員サロンの開催

地域課題の解決に役立つ情報提供の場、会員の皆さまとの交流の場として開催しました（年3回開催・参加者数 延べ425名）。

開催日	テーマ	参加者
平成28年 4月7日	「経営者のための論語塾Ⅲ」 講演：ふじのくにづくり支援センター兼三公社理事長 矢野 弘典 氏	150 名
9月20日	「新卒採用を成功に導く 学生目線での丁寧な採用活動について」 講演：就職支援財団 理事長 満井 義政 氏	130 名
12月1日	「日本でいちばん大切にしたい会社」 講演：法政大学大学院 教授 坂本 光司 氏 沢根スプリング(株) 代表取締役 沢根 孝佳 氏 (株)たこ満 代表取締役 平松 季哲 氏	145 名

### ② S E R I オープンサロンの開催

当所の調査研究成果を地域の皆さまに分かりやすく説明する場として開催しました（年3回開催・参加者数 延べ380名）。

開催日	テーマ	参加者
平成28年 6月22日	静岡県経済白書2016発刊記念 「“課題解決先進県” 静岡を目指して」 “課題解決先進県”へチャレンジ 当所常務理事 大石 人士 I・Tが切り拓くモノづくりの革新 当所主席研究員 内野孝宏 観光新潮流～DMOへの期待～ 当所主任研究員 富田洋一	120 名
11月7日	「静岡県のイメージと県民性」 当所主席研究員 塩野敏晴 「若年女性の流出問題を考える」 当所研究員 岩間晴美	115 名
平成29年 2月9日	「2017年の経済を展望する」 内外経済の動向と金融市場の見通し 当所常務理事 中村昭夫 静岡県経済の見通し 当所常務理事 大石 人士	145 名

### ③SERI 経営セミナーの開催

新入社員から経営層まで、各階層に応じた質の高いセミナーを開催しました（年17回開催・参加者数 延べ1,120名）。

開催日	テーマ	参加者
平成28年 4月14日	平成28年度新入社員研修 ビジネスプラスサポート 人財育成プロデューサー 森田圭美 氏	84名
5月24日 (緊急開催)	H29卒採用 ここからが勝負！ 新卒採用実践講座 就職支援財団 事務局長 鈴木寿彦 氏	39名
5月26日	営業の基本と実践 アクチャーコンサルティング 代表取締役 岩月康隆 氏	61名
6月24日	管理職！あなたがやらねば誰がやる インサイトラーニング 代表取締役 箱田忠昭 氏	95名
7月7日	若手社員「5つの力」を徹底強化 N&Kネットワーク 代表 天崎啓一 氏	87名
7月21日	経営者のための財務3表一体理解 ボナ・ヴィータ コーポレーション 代表取締役 國貞克則 氏	75名
8月26日	90日で「最強の営業」をつくる ヒューマン・クリエイティブ・コンサルティング 所長 山口真一 氏	74名
9月7日	女性を部下に持つ管理者が知っておきたい心得 るるキャリア 代表取締役 内田美紀子 氏	47名
9月15日	職場リーダーのコミュニケーション力と問題解決力 EMIコンサルティング 代表 福井充雄 氏	71名
10月21日	若手社員ステップアップ エンパワーモチベーション 代表 北川和恵 氏	84名
11月25日	H30年卒採用を成功に導く！新卒採用実践講座 就職支援財団 事務局長 鈴木寿彦 氏	35名
12月7日	数字を大きく伸ばす！提案営業の進め方 和田創研 代表 和田創 氏	54名
12月20日 (緊急開催)	若手社員「5つの力」を徹底強化 N&Kネットワーク 代表 天崎啓一 氏	57名
平成29年 2月7日	課長の役割と仕事 ビジネスディベロップサポート 代表 大軽俊史 氏	104名
2月17日	ミスゼロの仕事術 ビジネスプラスサポート 代表取締役 藤井美保代 氏	60名
3月8日	“右腕幹部”育成講座 アクティブ経営研究所 所長 鑄方貞了 氏	33名
3月15日	甘えを捨てよう！中堅社員 ヒューマンブレイン 代表取締役 稲垣正己 氏	60名

#### ④新春講演会の開催

さまざまな分野で活躍する著名講師を招請して、県内5会場で開催しました（参加者数 延べ3,450名）。

開催日	演題 講師	開催地 会場	来場者
平成29年 1月11日	「2017年の政局と日本の行方」 毎日新聞社 特別編集委員 岸井 成格 氏	掛川市 パレスホテル掛川	550名
1月13日	「ダントツの強みを磨け」 コマツ 相談役 坂根 正弘 氏	静岡市 しずぎんホール ユーフォニア	450名
1月20日	「日本経済の見方」 東京大学名誉教授 学習院大学教授 伊藤 元重 氏	沼津市 プラサ ヴェルデ	530名
1月23日	「2017年を展望する」 ジャーナリスト 名城大学教授 池上 彰 氏	浜松市 アクトシティ浜松 大ホール	1,550名
1月25日	「2017年の日本経済」 政策研究大学院大学教授 大田 弘子 氏	富士市 ホテルグランド富士	370名

#### ⑤各種講演会・勉強会への講師派遣

静岡県、静岡市などの行政、静岡県経営者協会、静岡商工会議所をはじめとした経済団体、静岡県立大学などの教育機関、民間企業等からの要請に応じて、当所の役職員を講演会の講師として派遣しました（年間102回）。

#### ⑥通信講座の斡旋

S E R I 通信講座を開講し、会員企業の社員等を対象に、通信講座の受講を斡旋しました（受講者数74名）。

### (3) その他の事業

#### ①コーディネート業務への取組み

静岡県が進める内陸フロンティア構想の実現に向け、経済界が静岡県と連携して取り組む「内陸フロンティア推進コンソーシアム」や、中小企業と新卒者との雇用のミスマッチ解消を目的に県内の経済団体と大学で組織された「しずおか産学就職連絡会」の事務局を務めました。



## ②公職委員への就任

静岡県産業成長戦略会議委員、静岡県私立学校審議会、磐田市総合計画審議委員など、地方公共団体、経済団体等からの要請に応じて各種委員会の委員に就任、専門家としての知見を発揮することで、地域に貢献しました（95先）。

## ③行政等との情報交換会の開催

静岡県内の大学（静岡県立大学、静岡産業大学、常葉大学、静岡英和学院大学）と情報交換会を1回、静岡財務事務所とは2回開催しました。

## ④マスコミ向け金融市場レクチャーの開催

テレビや新聞の記者を対象に、イギリスのEU離脱が及ぼす影響に関するレクチャー会を開催しました。

## ⑤マスコミへの登場

調査研究成果が新聞等で取り上げられたり、マスコミ各社からの取材を受けてテレビ、ラジオに登場しました（年間269回）。

昨年4月より毎月1回、NHK静岡の夕方番組「たっぷり静岡」の「たっぷり経済」での経済・産業動向の解説を担当、本年4月からは、読売新聞静岡版に静岡県経済の課題を考察するコラム「けいざい駿言」（毎月1回掲載）が始まりました。

## ⑥研修生の受入れ

地域、企業の明日を担う人材を育てるため、静岡県や民間企業等から研修生を受け入れました。

静岡県からの研修生	1名（研修期間1年）
民間企業からの研修生	2名（研修期間2年）
中国より派遣された中国人研修生	1名（研修期間2カ月）

#### (4) 庶務事項

平成28年5月18日 監事監査

- ①平成 27 年度事業報告書及びその附属明細書並びに理事の職務の執行に関する監査
- ②平成 27 年度計算書類及びその附属明細書並びに公益目的の支出計画実施報告書の監査

平成28年5月26日 平成 28 年度第 1 回理事会

<決議事項>

- ①「平成 27 年度事業報告書及び決算報告書」の承認の件
- ②「公益目的支出計画実施報告書」の承認の件
- ③「定時評議員会」の招集の件

平成28年6月9日 定時評議員会

<決議事項>

- ①「平成 27 年度事業報告書及び決算報告書」の承認の件
- ②「理事」全員任期満了に伴う改選の件
- ③「評議員」全員任期満了に伴う改選の件
- ④「監事」全員任期満了に伴う改選の件

同 上 平成 28 年度第 2 回理事会 [書面表決]

<決議事項>

- ①代表理事 1 名選定の件
- ②業務執行理事 2 名選定の件

平成29年3月30日 平成 28 年度第 3 回理事会 [書面表決]

<決議事項>

- ①平成 29 年度事業計画及び同収支予算書の承認の件

#### (5) 役員等の異動

異動日	異動時の地位	氏名	新任・退任
平成 28 年 6 月 9 日	理 事	杉本 豊和	退任
平成 28 年 6 月 9 日	理 事	山崎 泰啓	新任

## 事業報告の附属明細書

### 1. 役員等に関する事項（役員以外の法人との兼職状況）

平成 29 年 3 月 31 日現在

役職名	氏 名	現 職 名
評議員 【8名】	岩崎 清悟	静岡ガス株式会社 代表取締役会長
	木村 博彦	株式会社木村鋳造所 名誉会長
	後藤 孝	ビヨonz株式会社 代表取締役会長
	後藤 正博	株式会社静岡銀行 取締役
	斉藤 薫	遠州鉄道株式会社 代表取締役社長
	酒井 公夫	静岡鉄道株式会社 代表取締役会長
	中村 捷二	中部瓦斯株式会社 代表取締役会長
	中村 智浩	株式会社静岡銀行 地方創生部長
理 事 【11名】	鈴木 一雄	理事長
	中村 昭夫	常務理事
	大石 人士	常務理事
	飯田 直文	鈴与株式会社 代表取締役副社長
	小林 俊雄	株式会社小林製作所 代表取締役社長
	佐野 武男	丸富製紙株式会社 代表取締役社長
	須山 宏造	須山建設株式会社 代表取締役社長
	松井 純	株式会社静岡新聞社 取締役会長
	水谷 林蔵	静岡キャピタル株式会社 代表取締役社長
	山崎 泰啓	スズキ株式会社 常勤監査役
	山本 俊彦	静岡経営コンサルティング株式会社 代表取締役社長
監 事 【3名】	木内 藤男	木内建設株式会社 代表取締役社長
	後藤 康雄	はごろもフーズ株式会社 代表取締役会長
	鵜田 勝彦	株式会社TOKAIホールディングス 代表取締役社長

(敬称略)